

中期経営計画

Kirayaka Bank

きらやか銀行第2次中期経営計画

(平成21年10月～平成24年3月)

平成19年5月“きらやか銀行”が誕生し、本年5月で3年が経過しました。

店舗・人員等の効率化を終え、営業体制が整った今年度は、「人」「預貸」「資本」の3つの土台を築くことを目標に掲げ、種々の経営戦略を展開しております。

当行は、平成21年9月に導入した金融機能強化法の資本増強に合わせ、残る2つの土台構築を進め、「ビジネスモデルの再構築」「収益力の強化」「経営管理態勢並びに組織力の強化」を実現すべく、『第2次中期経営計画』を策定いたしました。第2次中期経営計画では営業面において、お客さまとのリレーションシップの再構築・強化を図る事により、当行の得意分野である「中小企業向け融資」及び「個人定期預金」の増強を柱とし、組織面においては、行員個々の能力開発を通じた組織力の向上および透明性・公正性の向上によるガバナンスの強化をもう1つの柱に据えております。本計画の遂行により、経営基盤の着実な強化を図り、地域におけるプレゼンスの更なる向上に向けて、お客さまから感謝の言葉を受けられる銀行を目指してまいります。

また、平成22年1月より、お客さまの本業支援を目的として「地元の企業を支え共に活(い)きていく」をテーマに「共に生きる」プロジェクトを展開しております。中小企業支援が当行最大の使命であることを再認識し、自信と誇りを持って業務に取り組んでまいります。

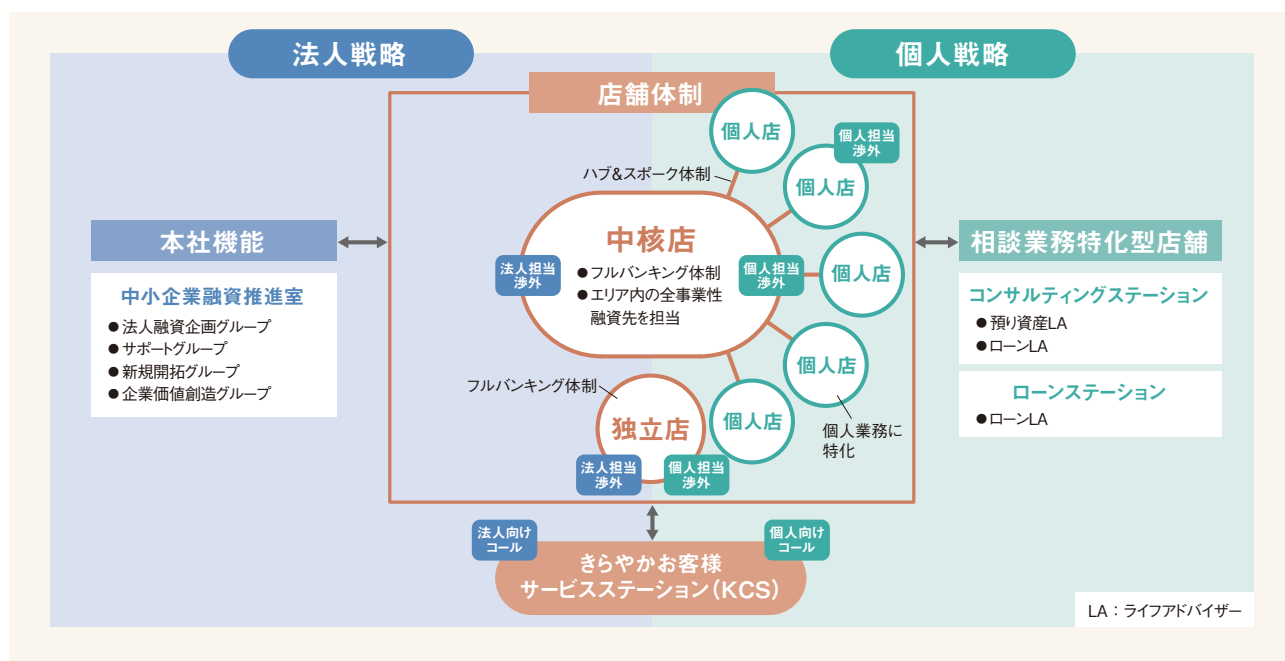


昭和の高度経済成長期、働く現場には活き活きとした表情がありました。

これからも、活気溢れる現場を支えたい。
働く皆さまの活力になりたい。
地域の企業と共に生きてゆきたい。

私たちきらやか銀行の願いは、企業の皆さまと「共に生きる」こと。

 きらやか銀行



基本戦略

■ビジネスモデルの再構築

店舗・担当職務の役割の明確化は完了。全行員が役割・責任を果たすことにより、組織力を発揮し、お客さまとのリレーションシップを強化。

■中計最終年度に目指す姿

お客さまの信頼

地域の社会・経済の活性化

おかげさま

お客さまからいただける感謝の言葉をキーワードに目指してまいります。

■新中期経営計画の骨子

ビジネスモデルの再構築	役割の明確化、 営業店人員の増強
収益力の強化	財務基盤の安定化
経営管理態勢並びに組織力の強化	緊張感ある組織、 組織の活性化

■目指す経営指標

以下の目標に向けた土台を築いてまいります。

コア業務純益	60億円
コアOHR	60%台
不良債権比率	5%台